田平北小学校だより第２５号　　２０２６年　１１月４日　水曜日　　校長　田崎　俊一郎

けいすい

かわいい訪問者 Halloween

ハロウィンは毎年 10 月 31 日に行われる世界的な行事です。日本で一般に流行し始めたのは 1990 年代後半ですので、ハロウィンに馴染みがあるかどうか世代によって大きく分かれるそうです。

10 月 30 日の校長室に仮装したかわいい訪問者がありました。図工の活動を生かして仮装した 2 年生です。さすがにお菓子はあげませんでしたが、無事に悪戯されることもなく楽しそうに去っていきました。楽しいひと時でした。





～こていく！ 学力向上編～
Improve reading comprehension skills―

学び深まる秋です。子どもたちの授業中の様子を観ていると、先生や友達の発表を注意して聞くことがとても大切であるといつも感じます。「注意を払う」という言葉は日常生活でよく使いますが、この「注意」という概念を理解することは大変難しいそうです。

認知心理学において、注意とは「容量が限られている資源であり、一定量を配分するもの」とされ、その量には限りがあるとされています。つまり、注意して話を聞くためには、余計なものへ意識を向けず、本来集中すべき内容に注意を向けなければなりません。

授業中、子どもたちの限られた資源である「注意」を削いでしまう（意識が向いてしまう）要因には、次のようなものがあります。

○ 筆箱（キャラクターに心を奪われ、学習に集中できなくなります）

北小では、授業中に筆箱は机の中にしまい、鉛筆・定規・消しゴムなど必要なものだけを出すようにしています。学級によっては、滑り止めシートの上に鉛筆を置くことで注意がそれるのを防ぐ工夫もしています。お子様に華美な文房具を持たせていませんか？

○ 教室内の掲示物
○ 周囲の話し声や騒音
○ 板書の文字の大きさ
○ 教室の温度 など

２ 学期の重点目標は「しっとりと落ち着きのある学校にする」です。学習環境を整え、子どもたちが必要なことにしっかりと注意を向けられるよう手立てを講じていきます。

体を動かすことの楽しさを！

We help children fully experience the joy of physical activity.

毎年文部科学省が行っている「全国体力・運動能力調査」の令和7年度では、「体力の合計点は、小中学校男女ともに前年度から向上している」という結果が示されました。体育や保健の授業を行っているが小学校としては指導の成果ではないかとうれしく感じます。

体育の時間の喜びは何といっても「できないことができるようになること」です。はじめのうちはなかなかできないこともコツコツと続け、ポイントを覚えたり、友達と協力して練習を工夫したりして徐々にできるようになることを実感できるのが運動をすることの楽しさです。体育の時間を通して、体を動かす喜びを存分に感じさせたいと思います。



